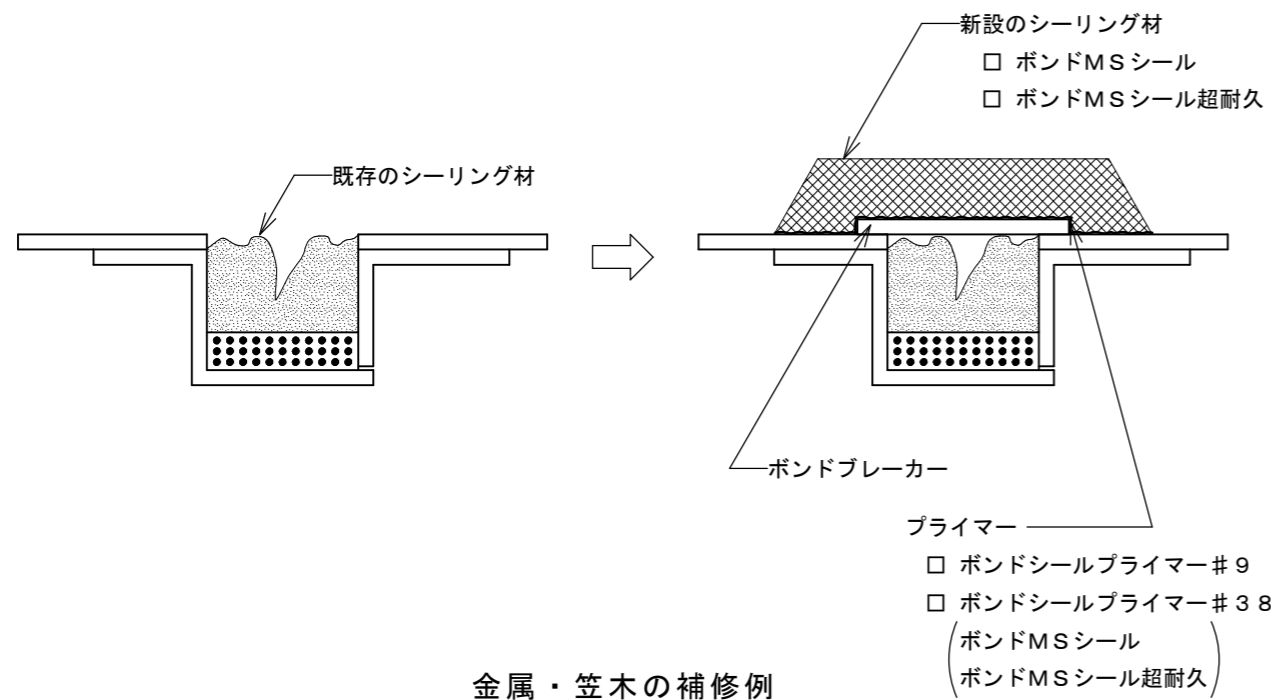


シーリングブリッジ工法

(シーリング改修)

BS-03-01



金属・笠木の補修例

- |               |   |
|---------------|---|
| 目地状態の確認       | ・目地状態、寸法を確認する。また、被着面が十分に乾燥しているのを確認する。   |
| ↓             |   |
| 目地周辺の清掃       | ・目地周辺を清掃用溶剤等を用いて十分に清掃する。  |
| ↓             |   |
| ボンドブレイカーの貼り付け | ・新設のシーリング材と接着しない適切な幅のボンドブレイカーを貼り付け、既存シーリング材との間を絶縁する。                                      |
| ↓             |   |
| バックアップ材貼り     | ・バックアップ材で枠を作り、適切な目地幅と厚さを設定する。被着体への定着幅及び厚さは通常9mm以上とする。                                     |
| ↓             |   |
| プライマーの塗布      | ・専用プライマーをハケ等にて十分に塗布する。吸い込みの多い場合は2度塗りを行う。  |
| ↓             |   |
| シーリング材の混合     | ・シーリング材専用混合機械にて、基剤・硬化剤・カラーマスターが均一になるまで15分以上混合する。未混合になりやすい混合容器の壁、底部などは、ヘラ等でかき落とした後再度、混合する。 |
| ↓             |   |
| シーリング材の充てん    | ・混合したシーリング材をコーキングガンに詰め、目地底にコーキングガンのノズルを当てゆっくりかつ十分に、気泡が入らないように可使時間内に充てんする。                 |
| ↓             |   |
| ヘラ仕上げ         | ・目地幅にあったヘラですみやかにシーリング材表面を周辺のパターンに合わせて平滑に仕上げる。   |
| ↓             |   |
| 目地廻りの清掃       | ・清掃用溶剤等を用いて目地廻りを清掃する。   |
| ↓             |   |
| 養生            |   |
| ↓             |   |
| バックアップ材の除去    | ・シーリング材の硬化養生後すみやかにバックアップ材を除去する。   |

図面番号： No. 3

縮尺： 1/1



**BESTEM** ボンドで創るベストシステム  
 —ベストム—